

1 学校経営の基本構想

(1) 学校経営の基本や基盤

① 公教育としての基盤に立つ学校

- 日本国憲法を基に、教育基本法や学校教育法をはじめとする関係諸法規、学習指導要領によって公教育を行う。
- 福岡県教育施策及び古賀市教育行政の目標と主要施策に則り、児童や保護者、地域及び学校の実態に即して行う。
- 福岡県人権教育・啓発基本指針、学校教育における在日外国人の人権に関する指導上の指針、古賀市人権施策基本指針に基づいて人権教育を推進する。

② コロナ禍、Society5.0時代の到来等、急激な社会状況の変化に応える学校

- 子どもが自分のよさや可能性を認識するとともに、あらゆる他者を価値のある存在として尊重し、多様な人々と協働しながら様々な社会的変化を乗り越え豊かな人生を切り拓き、持続可能な社会の創り手となりうる資質・能力を育成する。

③ 地域や保護者の願いに応え、活力と創意にあふれた「地域とともにある学校」

- 緊密な関係にある PTCA を活用した運営を推進する学校
- 社会の変化と地域の力を教育課程編成につなぎ、社会に開かれた教育課程の実現に努める学校。
- 古賀のコミュニティ・スクールに根差し、小野校区運営協議会を核とした「野幸山幸おのみつり」等による伝統の継承と新たな創造に努める学校。
※ 新型コロナウイルス感染拡大防止策を十分講じて、「野幸山幸おのみつり」を実施予定

(2) 学校の教育目標

ふるさと小野を愛し、確かな学力と人間関係力を身に付けた
たくましい子どもの育成

(3) 本校の教育課題と経営課題

① 教育課題

- ア 学習意欲の向上と基礎基本の確実な定着
- イ 規範意識に根差した人間関係力の育成
- ウ 健康意識の向上と自己管理能力の育成

② 経営課題

- ア 学力向上に向けた取組の強化と ICT を活用した授業改善の日常化
- イ 日々の学級指導における凡事徹底と積極的な生徒指導の強化
- ウ 自己管理能力を育てる「小野っ子健康プロジェクト」の深化・発展

(4) 具体目標

① 目指す子ども像

- 学習に粘り強く取り組み、がんばりの種を育む子ども **【がんばりの種】**
- 自分を大切にし他者を思いやり、なかよしの種を育む子ども **【なかよしの種】**
- 自ら運動や遊びに取り組み、けんこうの種を育む子ども **【けんこうの種】**

② 目指す学校像

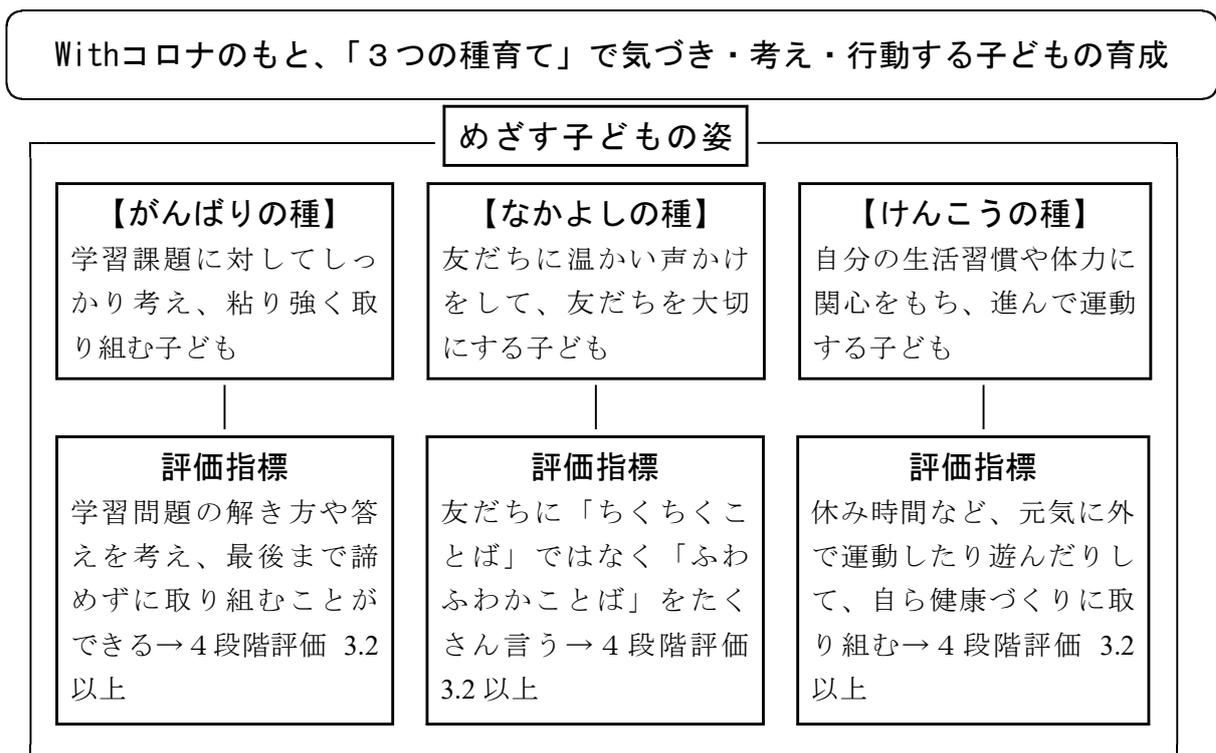
- 子どもが明るく楽しく活動できる学校
- 環境が整い、安全で美しい学校
- 保護者・地域に信頼され、愛される学校

③ 目指す教師像

- 教育専門職として自己研鑽に励む教師
- 健康で明るく、頼りがいのある教師
- 教育目標の具現化に向け、一丸となって取り組む教師

2 本年度の重点

(1) 本年度の重点目標



(2) 重点目標達成のための経営の重点

【1 学力向上に視点を置いたがんばりの種の育成】
① 学力向上プランの具現化 <ul style="list-style-type: none">・ 授業づくり、学力基盤づくり、教員の指導力の向上、家庭との連携による家庭学習の定着等を通して、短期・中期目標・指標達成をめざす ⇒標準学力調査における2年生以上の標準スコア経年比(同一集団)で前年度維持または上回る

⇒質問紙等における「家庭学習をしない」または「あまりしない」6年生の割合20%以下に

- ② 主体的・対話的で深い学びの実現に向けた日々の授業改善
 - ・ 一人一台パソコン端末や電子黒板等の日常的な活用による授業づくり
 - ⇒電子黒板の活用率80%以上 一人一台パソコン使用毎日1回以上
 - ・ シンプル・クリア・ビジュアル・シェアを意識した授業づくり
 - ・ 主眼とめあてとまとめの整合を意識した授業づくり
 - ⇒週案毎週1回全員提出 管理職によるコメント毎回
 - ・ 子ども自身が学習をまとめたり、振り返ったりする授業づくり
- ③ 効果的な指導の工夫による学力の確実な定着
 - ・ 個の実態に応じた少人数指導やおのっこ検定等の工夫
 - ・ 効果的な学習指導の基礎基本をおさえた日々の授業改善

【2 心力向上に視点を置いたなかよしの種の育成】

- ① 自主的、実践的態度を育てる学級活動、児童会活動の充実
 - ・ 子どもの課題意識を生かした学級活動の計画的な実施
 - ・ 児童会活動の充実（活躍・協働・貢献の場を大切にしたい取組の工夫）
- ② 目指す子どもの姿を行動目標で表す学級目標の設定
 - ・ 「3つの種」を学級目標に具体化して掲示（シンプル・クリア・ビジュアル）
- ③ 「立ち止まってあいさつ」と「黙働」定着のための取組の徹底
 - ・ 「歩いて登校 遅刻0、あいさつ運動」による自主性の育成
 - ⇒「おのっこほたりん」の幟旗を活用した年間3回の実施
 - ⇒出席扱い0の子どもを0に
- ④ 人権尊重の視点に立った授業づくりと人間関係づくり
 - ・ 新型コロナウイルス感染症関係者への不当な差別、いやがらせ、誹謗中傷等の未然防止と早期発見・早期対応の徹底
 - ・ 子どもの前に立つ教師として人権感覚を磨くことの継続化
 - ・ 教師も子ども同士も名前を呼び捨てにせず人権を尊重する態度の徹底
 - ・ 人権教育副読本「いのちのノート」の有効活用（道徳や学級活動等）
 - ⇒「こころ・人権の日」（本年度6月実施）における全学級公開
 - ・ いじめの未然防止と早期発見・早期対応の徹底
- ⑤ 特別支援教育の充実
 - ・ 個別の教育支援計画・個別の指導計画の作成付加・修正
 - ・ 通常の学級に在籍する特別な支援を要する子どもへの支援体制の充実
- ⑥ 文部科学大臣表彰に輝いた読書活動の推進
 - ・ 朝読書の効果的実施、読書週間の充実
 - ・ 読書ボランティア等、地域ボランティアの活用

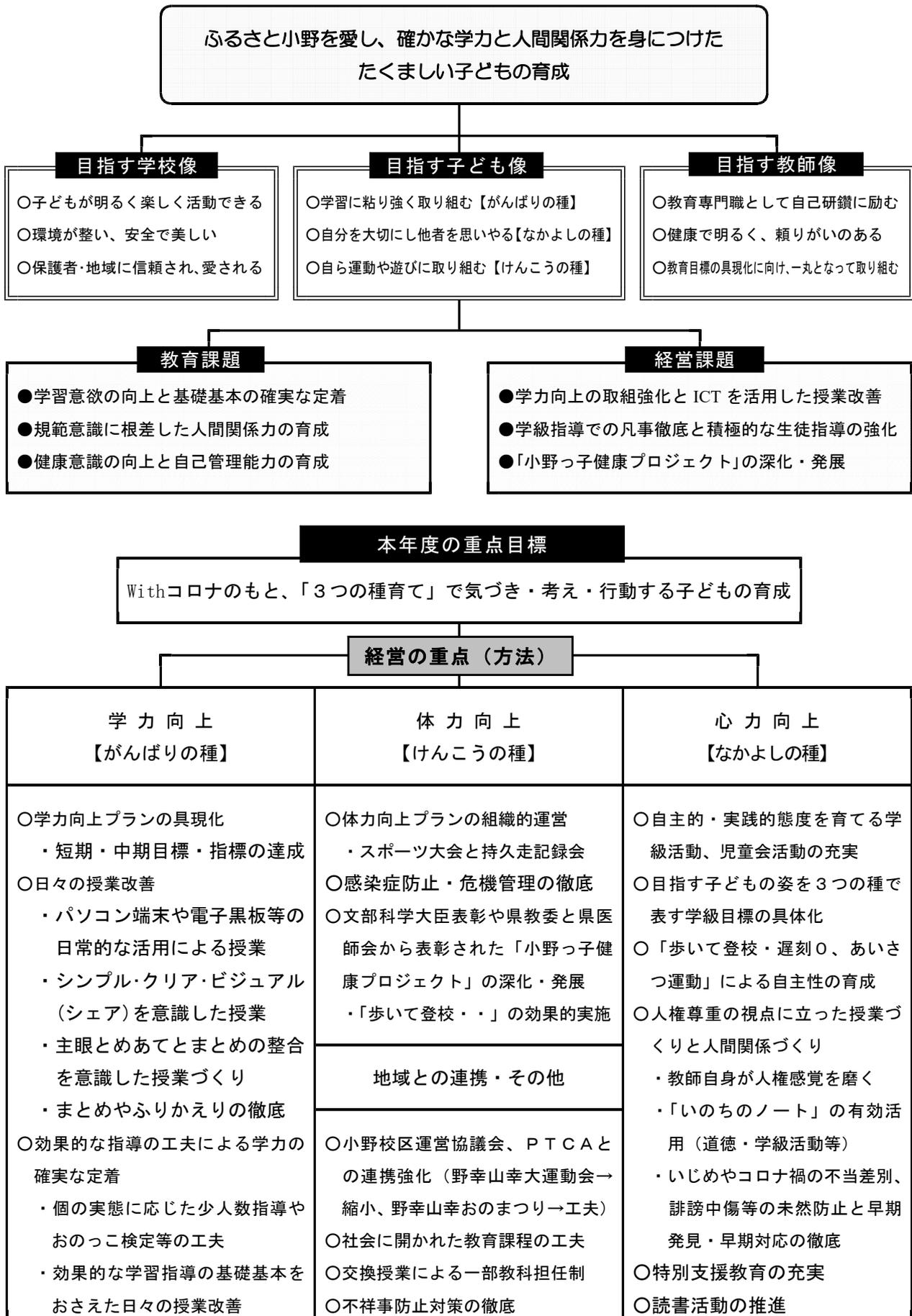
【3 体力向上に視点を置いたけんこうの種の育成】

- ① 体力向上プランの組織的運営
 - ・ 子どもの挑戦意欲を高めるスポーツ大会の工夫と持久走記録会の実施
⇒「スポーツ大会や持久走記録会に向け、自ら練習に取り組むことができたか」が、4段階評価で3.2以上
 - ・ 日常生活で鍛える「体力テストチャレンジ週間」の実施
- ② 体育科の授業の充実
 - ・ 運動量を保障する授業の展開
 - ・ 課題克服を取り入れた「ウォーミングアップ運動」の実施
- ③ 文部科学大臣表彰をはじめ県教委による学校保健優良学校特別優秀賞、県医師会による学校保健模範校として表彰された「小野っ子健康プロジェクト」の深化・発展
 - ・ 福岡女学院看護大学、古賀市予防健診課との連携
 - ・ 保健学習プログラムのカリキュラム定着と効果的实施による健康づくりに向けた自己管理能力の育成
 - ・ 「歩いて登校 遅刻0、あいさつ運動」の効果的実施
⇒「遅刻をせずに歩いて登校することができたか」が、4段階評価で3.2以上
 - ・ 感染症防止に向けたリスクマネジメントとクライシスマネジメントの徹底

【地域連携・その他の視点から】

- ① 小野校区運営協議会、PTCAとの連携推進
 - ・ 地域や家庭と学校とがパートナーとして一体となり子どもの成長を支える
 - ・ 学校経営要綱の共通理解に向けた説明と実施報告の工夫
 - ・ 「野幸山幸大運動会」における校区種目の運営に関する連携 → 縮小化
 - ・ 小野校区運営協議会を核にした「野幸山幸おのまつり」の工夫
- ② 社会に開かれた教育課程の工夫（ふるさと小野のよさの実感・発信）
 - ・ 小野校区見守り隊等との交流
 - ・ 小野校区探検の実施
 - ・ 人権擁護委員の支援による「人権の花運動」の実施
 - ・ ホタルの会の支援によるホタルの飼育・放流
 - ・ 地域の農家の支援による小野っ子米の田植え・収穫・もちつき
 - ・ 市が誇る船原古墳の歴史に学びロマンを想像する活動
- ③ 勤務時間縮減の取組の推進
 - ・ 定時退校日・学校閉庁時刻の徹底
 - ・ 学年内交換授業による一部教科担任制の実施
- ④ 教職員研修の充実・授業力量の向上
 - ・ 令和5年度の研発に向けた研修の在り方や内容の土台づくりの一年間
 - ・ 教科等研修、教育センター研修等、教育論文への奨励、自主研修の充実
- ⑤ 教職員による不祥事防止対策の徹底
 - ・ 一般研修やAUDITを活用した面談の実施と管理職による指導
 - ・ 風通しのよい職場環境づくりの推進

3 本年度の経営構想図



4 小野小学校コミュニティ・スクール構造図

